

馬の耳

どんな良い話を聞いても、何も行動しなかった私が「馬」ではなく「人間」である証明をする為、勉強会等で学んだことをまとめ、この「馬の耳」を作ることにしました。お世話になっている皆様のために、少しでもお役に立てればと思います。



発行日 2009年10月1日

発行元 (有)沼津電話工事

小野博文

〒410-0022 静岡県沼津市大岡3916-8

055-921-1551 tel

055-922-1144 fax

<http://www.net-ndk.co.jp/>

ono@net-ndk.co.jp

【博文は一度死ぬ！？】

皆さんは、救急車に乗ったことがありますか？私は先日、生まれて初めて乗ってしまいました。もう元気になりましたので、心配しないで読んで下さいね！

その日も、いつものように朝起きたのですが、体調がよくありません。手足がしびれ、心臓が苦しく、とても歩ける状態ではないのです。何とか妻にその苦しさを伝えて、救急車を呼んでもらったのですが、時間が経てば経つほど、どんどん心臓が苦しくなっています。やっと救急車が来たかと思ったら、日曜日のため、開いている病院が少なく、行き先がなかなか見つかりません。救急車は自宅の前で立ち往生です。

酸素マスクや、血圧計、心電図の機械など、色々な機材が私の体に取り付けられていきます。妻は私の手を握りながら泣いています。私も妻に何か声をかけようと思うのですが、手を握り返すのが精一杯で「苦しい！」としか言葉は出ませんでした。

子供の顔や、社員さんたちの顔が浮かんでは消え、浮かんでは消えます。「俺は、まだまだ死ぬわけには行かない！」と思っている意識が何回も遠のきそうになるのです。

「もうダメか？」（今思うと、大袈裟なんです）やっとの事で医療センターに運んでいただき、入院までして、しっかり検査をしてもらいました。まあ、こうして「馬の耳」を書いているという事は、そんな大事じゃなかったのだと、お察しいただけだと思いますが・・・読んで下さった皆さん！他人事じゃないですよお～！！

心のどこかで、「まだまだ若い」と思って油断をしたり、健康が大事だといいいながら、不摂生をしませんか？私だって、心臓が苦しくなって、救急車で運ばれるなんて、これっぽっちも思ってもいませんでしたからねえ。

今回、本当に健康の大切さと、いつまでも若くないということを実感しました。

皆さんは大切な人やご家族を、本当に大事にしていますか？伝えたい事を、伝えてありますか？いざとなつてからでは間に合いません。

私はこれを機会に、食事に気をつけ、家族に話しかける機会を増やす事にしました。季節の変わり目です。皆さんもお体に気を付けて下さいね！

【懸命に働く？賢明に働く？】

今回の沼津経営塾は「お金の稼ぎ方」の話でした。誰もがお金を稼ぐ為に働きますが、「お金を稼ぐために一生懸命に作業をする人」と、「お金が儲かるシステムを作る人」の二種類の人がいるというのです。この二つの違いがわかるのでしょうか？

例えば、水を得るために、遠くの泉からバケツで水を運ぶ人と、泉からパイプラインをひく人の二種類の人がいると言ったらわかりやすいでしょうか。

バケツで汲みに行く人は、とりあえず汲みに行った分の水は手に入りますが、汲みに行く作業をずっと続けなくてはなりません。いつまでも若くて健康なら良いのですが、歳は必ず取りますし、健康を害してしまう事だってあるかもしれません。そうしたら水は手に入らなくなってしまいます。

もう一方のパイプラインを引く人は、パイプラインを引くまでは大変ですが、一度引いてしまえば、水を手に入れる事が容易に出来るようになります。当たり前ですよ。

でも、実際はどうでしょう？私は、何回も水を汲みに行き、一生懸命運んでいます。途中でこぼしてしまったりして、もうクタクタです！

それでも、やっぱり水を運ぶほうが、手っ取り早いですし、やりがいもあるのです。手ごたえがほしいじゃないですか！パイプラインを引くなんて、「楽をして儲ける」って感じがして、ちょっとズルイ気もしちゃうんですよねえ～(汗)

あ～そういう考えだから、私は儲からないんだろうなあ～。(涙)

水を汲みに行くことは、立派な事だと思いますが、水を汲んでいるだけでいいのだろうか？私にとってパイプライン（システム）とは、どんなことなんだろうと考えるようになりました。「博文は一度死ぬ！？」ではありませんが、いつどうなってしまうか、本当にわかりません。私がどんなに頑張っても一人工ですし、一日は24時間です。それ以上の事は出来ません。もしもの時の事も考えると、やっぱりパイプラインは必要かもしれません。

システムについて考えていったら、システムを作るには、水を汲みにいく以上の我慢強さと、本気、そして、クリエイティブである事が必要なのだと思いました。決して簡単ではありませんね。

【デジタル格差】

全世界でインターネットなどのブロードバンド通信が普及していく中、固定ブロードバンド通信の普及率を地域別に見ると、欧州が人口千人あたり約200人いるのに対しアフリカでは一人。携帯ブロードバンド利用者は米州地域で米国が82.6%、アジア太平洋地域では、70%が日本と韓国に集中する等、国や地域の「デジタル格差」は縮まりません。



沼津経営塾開催日

10月8日(木) 市民文化センター第二会議室 PM7:00より

お馬様の
今月のお言葉

一
度
目
の
お
馬
様
の
今
月
の
お
言
葉